

各家庭でささげられる主日礼拝プログラム

離れていても、時を定め、共に祈り、賛美し、聖書の言葉に聴くことを通して心をつなげましょう。月毎に、第1～第5までの主日ごとのプログラムです。該当する日のものを用いて下さい。

- ① 日曜日10時半になったら、心を静め黙禱（30秒ほど）
- ② 詩編を読む。（声に出して読んでも、声を出さずに黙読でも構いません。）
第1主日：詩10編（P.841） 第2主日：詩20編（P.851） 第3主日：詩30編（P.860）
第4主日：詩40編（P.873） 第5主日：詩57編（P.890）
イースター：詩16編（P.845） ペンテコステ：詩51編12-17（P.885）
- ③ 讃美歌（それぞれ最初と最後の節を歌う。声に出して歌っても、声を出さずに心の中で歌っても構いません。）
第1主日：533「どんなときでも」 第2主日：532「やすかれ、わがこころよ」
第3主日：531「主イエスこそわが望み」 第4主日：530「主よ、こころみ」
第5主日：463「わが行くみち」
イースター：326「地よ声たかく」 ペンテコステ：342「神の霊よ、今くだり」
- ④ 祈り（下記の通りでなくても、各自の自由な祈りをささげても構いません。）
神さま、今日も私たちに命の歩みを与えて下さり、ありがとうございます。
いま私たちは、大きな不安と悩みを伴う試練の中に置かれています。
目に見えないウィルスによる病気を克服するために、今日も懸命に働く人々、
思いがけず感染し、病気と闘っている人々、それを支える医療者たち、
そしてすべての国の指導者たちに、あなたの力と導きをお与え下さい。
病気を理由に人を排除したり、差別したりすることがありませんように。
小さな子どもや、お年を召した方々、不安の中にいる人々を慰めて下さい。
私たちは、このような時にも、あなたが共にいて支えて下さることを信じます。
いつか再び笑って教会で礼拝をささげられる日が来ることを信じます。
イエス・キリストが教えて下さった祈りを、仲間たちと共にささげます。
（主の祈り）
- ⑤ 聖書を読む。（声に出して読んでも、声を出さずに黙読でも構いません。）
第1主日 旧約：イザヤ40：27-31（P.1125） 新約：ヨハネ16：25-33（P.201）
第2主日 旧約：ヨナ2：1-10（P.1446） 新約：ローマ5：1-5（P.279）
第3主日 旧約：列王記上19：7-18（P.566） 新約：IIコリント4：7-18（P.329）
第4主日 旧約：イザヤ43：1-7（P.1130） 新約：マタイ11：25-30（P.20）
第5主日 旧約：エレミヤ31：1-14（P.1234） 新約：IIコリント12：7b-10（P.339）
*イースター 旧約：エゼキエル37：1-14（P.1357） 新約：ルカ24：13-32（P.160）
*ペンテコステ 旧約：ヨエル3：1-5（P.1425） 新約：ローマ8：18-28（P.285）
- ⑥ 讃美歌（声に出して歌っても、声を出さずに心の中で歌っても構いません。）
第1主日：464「ほめたたえよう」（1,2節） 第2主日：451「くすしきみ恵み」（1,2,4節）
第3主日：471「勝利をのぞみ」（1,3節） 第4主日：470「やさしい目が」（1-3節）
第5主日：459「飼い主わが主よ」（1,4節）
イースター：575「球根の中には」（1-3節） ペンテコステ：417「聖霊によりて」（1,3節）
- ⑦ 黙禱
（心の中で）
「イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、私たちと共にありますように。アーメン。」